

全体研究主題 「未来を拓く国語教育の創造」
—思考力・表現力及び探究力が育つ言語活動の充実—

<書くこと部研究主題>
主体的・協働的に書く活動を通して、思考力・表現力及び探究力を育てる

1 「書くこと部」における、全体テーマ「未来を拓く国語教育の創造」の捉え方

書くことは考えることである。子供たちが活躍する未来は、予想できない変化が待ち受けていると言われ、それを乗り越えていくために思考力・表現力が不可欠であることは周知の通りである。その中でも書く活動は、しっかり考え、それを目に見える形で残していくことができるので、各自が考えたことを確認したり、考えを深めたりすることができる。また、自分の表現したものを振り返り、他者と交流しながら自他の発想や表現の良さに気付くことで、さらに思考することになり、探究力も育つと考える。予期せぬ事態に対面したとき、自分で答えを作り、さらに新たな問いを立てることができる子供を育てていくために、探究的な自己内対話が生まれる書く活動を大切にしたい。

2 「書くこと部」研究主題について

(1) 「主体的に書く」とはどのようなことか

書くことは個々の活動であり、自己の思いを表現することそのものである。その際に子供が書く内容は、子供たちが「書きたい」と思うものでなくては主体的な学びにはならない。書くこと部は、子供が「書きたい」と思うような教材開発を第一に考えてきた。そのため書くこと部は学習に入る前の段階(0次)を大切にしている。これからも子供たちに寄り添い、その思いを大切にしながら、教師が願う力を子供一人一人に身に付けさせるために子供の生活から単元を構成し、適切な教材を開発していく。

(2) 「協働的に書く」とはどのようなことか

書くこと部では他者との交流を重視する。書く活動では、取材・選材・構成・記述・推敲のプロセスは、軽重はあっても必ず通る過程である。書くことは個人的な作業であるが、全ての過程において他者との交流を位置付けることで、自他の良さに気づき、表現内容だけでなく、それを伝えるための技術も学び合えると考える。

(3) 「思考力・表現力及び探究力」

(1)(2)のような子供たち主体の学習を展開することで、学びの質や深まりが期待でき、思考力・表現力を身に付けさせることをねらうが、確実に上記の力が身に付いている必要がある。その際に必要となる材料の一つは、教師の提示する適切な例文である。子供主体の学習であるが、学ばせたい内容に気付くような例文を示すことで確かな学習を助けていく。さらに書いたものを実の場で活かすことで、「書いてよかった」と実感(「実の場」の評価)することができる。その喜びが実生活で書くことの習慣化につながり、探究力育成につながると考える。

このように書くこと部では、子供たちが主体的・協働的な学びを進めながら、書く力を確実に身に付けさせたいと考え、上記のように研究主題を設定した。

3 研究の内容

- ① 主体的学習に取り組む0次
- ② 協働的な学習を生み出す交流活動
- ③ 思考力・表現力、探究力を確かに育てる工夫(例文、自己評価、実の場における活用)